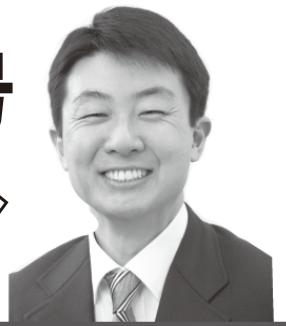


# 古川なおきレポート 第147号

自由民主党横浜市会議員 古川なおきの政務活動報告

2020年4月15日発行



## 新型コロナウイルスとの闘い

### 新型コロナウイルスとの闘い

新型コロナウイルスの感染が拡がり、政府より「緊急事態宣言」発令されました。外出自粛要請をはじめ私たちの生活に様々な影響が出ています。私も自民党横浜市議団36名の団長として「医療提供体制の確保」「中小企業や商店街など小規模事業者に対する支援」「市立学校の臨時休業の対応」などを市長や教育長に要請してまいりましたが、緊急事態宣言を受け、議員団の中に新型コロナウイルス感染症対策本部（関勝則事務局長）を立ち上げました。これまで、政府を中心に神奈川県も横浜市も様々な感染症対策を実行してきました



3月5日市長へ「新型コロナウイルス感染症に対する中小・小規模事業者対策に関する要請」が、このウイルスとの闘いは治療薬やワクチンが開発され感染が終息するまで続きます。私たちが今まで経験したことがないウイルスとの闘いは長期になる可能性もあります。まずはウイルス感染の抑制やPCR検査数の拡充、飲食店や商店など中小・小規模事業者への支援、子どもや高齢者などの社会的弱者に対する支援に力を入れなければなりません。

### 古川なおきプロフィール

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了  
横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書  
平成7年4月 横浜市会議員初当選(26才最年少)  
自民党横浜市会議員団・無所属の会 団長  
横浜市会FCキャプテン  
希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会 理事  
旭区食品衛生協会顧問/旭区サッカー協会顧問  
旭区スポーツダンス協会顧問/旭区卓球協会顧問  
旭区剣道連盟顧問  
2018横浜マラソン完走 5時間8分

### 医療崩壊を防ぐ

様々な困難な状況がある中で、優先されるのは人の命であることに異論はないと思います。今、私が一番危機感を持っているのは医療崩壊です。今後、感染者が増え続け、限られている病室が足りなくなり、心筋梗塞や脳梗塞、交通事故など通常の救急の手術や治療ができない状態になることが懸念されます。既に受け入れ病院が見つからず何時間も救急車の中でたらい回しにされる事例も出ています。何としてもニューヨークやイタリアのような医療崩壊を防がなければなりません。

横浜市では、5月に神奈川区三ツ沢に移転する市民病院が神奈川県で唯一の「第一種感染症指定医療機関」の指定を受け、国立感染症研究所感染症情報センターや横浜市衛生研究所などの専門機関等と連携を図りながら、感染症が疑われる方の治療を行っています。市内にある大病院でも新型コロナウイルスの治療をしていますが、検査で陽性反応が出たとしても症状が出ない人や軽症者は、高齢者や妊婦を除き公共の宿泊施設や民間のホテルで療養していただくべきだと思います。早速、市長も自民党市議団の要請に応えていただき、軽症者200人を受け入れるために保土ヶ谷区岡沢町の旧市民病院を確保していただきました。みなとみらいのアパホテルもご協力いただくことになりました。また、他の施設でも受け入れていただけるように引き続き取り組んでいた

だきたいと思います。

緊急事態宣言が発令され、誰もが自分のことで精一杯になっていますが、医



4月2日教育長へ「横浜市立学校における教育活動の再開に向けた要望」

療現場は癌や心筋梗塞などの重症者に加えて、さらにコロナウイルス感染者の治療にも連日対応されています。昼夜を問わず現場で対応している病院、保健所、医師、看護師など医療従事者の皆様や横浜市職員の方々に心より感謝申し上げます。防護服やマスクなどを確保し、医療従事者の皆様が安心して治療できるようしなければなりません。横浜市は、治療に人工呼吸器が必要な重症患者や、酸素マスクが必要な中等症患者を受け入れる病床として、市民病院、みなと赤十字病院、市大附属病院、市大センター 病院をはじ  
4月6日市長へ「新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制の確保等に関する要請」



め、市内の医療機関のご協力で約500床を確保しました。市内の医療機関の入院状況などを一元管理し、感染者患者の入院と平時の救急医療を円滑に行うため感染症・医療調整本部も設置しました。

県では、中等症の患者を受け入れる仮設の医療施設（180床）を藤沢市内のグランドに建設する予定です。今後の重症者のピークを考えると、さらに重症者のための病室の増床も求められます。一人でも多くの命を救うために、横浜市としても国や県と協力して全力で対応していただきたいと思います。

新型コロナウイルスとの闘いは、これからが正念場です。

辛いことも多いかもしれません、ウイルスが終息する日は必ず来るので、落ち着いて、行動することが大切だと思います。

がんばろう横浜！

がんばろう神奈川！

私も覚悟を持って頑張ります！

横浜市会議員 古川直季

## 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策本部

参考資料

### 人との接触を8割減らす、10のポイント

緊急事態宣言の中、誰もが感染するリスク、誰でも感染させるリスクがあります。

新型コロナウイルス感染症から、あなたと身近な人の命を守れるよう、日常生活を見直してみましょう。

**1** ビデオ通話でオンライン帰省



**2** スーパーは1人または少人数ですいている時間に



**3** ジョギングは少人数で公園はすいた時間、場所を選ぶ



**4** 待てる買い物は通販で



**5** 飲み会はオンラインで



**6** 診療は遠隔診療

定期受診は間隔を調整



**7** 筋トレやヨガは自宅で動画を活用



**8** 飲食は持ち帰り、宅配も



**9** 仕事は在宅勤務

通勤は医療・インフラ・物流など社会機能維持のために



**10** 会話はマスクをつけて



**3つの密を避けましょう**

1. 換気の悪い密閉空間
2. 多数が集まる密集場所
3. 間近で会話や発声をする密接場面

**手洗い・咳エチケット・換気や、健康管理**  
も、同様に重要です。